

国土交通省北陸地方整備局へ要望を行いました。

令和6年11月25日

（一社）日本砂利協会北陸支部（本間信彦（一社）新潟県砂利碎石協会会長）による国土交通省北陸地方整備局への要望会が行われ、支部傘下の新潟県、石川県、長野県部会より要望書を提出しました。

要望会に先立ち、高松榎北陸地方整備局長との懇談が行われ、高松局長からは石川県能登地方の地震と豪雨災害の復旧と復興に全力で取り組むとご挨拶をいただきました。

要望会には村田河川管理課長、吉田技術管理課長、関川計画・建設産業課長が対応いただき、長野県からは信濃川水系緊急対策プロジェクトにおける砂利採取を活用した河川掘削、河川砂利採取に関する規制緩和、河川整備に伴う掘削土砂の有効活用等を要望しました。

第16次砂利採取規制計画では、認可予定量が前計画に比べ年次別で約1.5倍と大幅に緩和され、また、令和4年12月に変更された信濃川水系河川整備計画では、砂利採取を「民間事業者等による砂利の有効活用の促進」と追加され、河川掘削に伴う土砂を良質な砂利資源として捉えていただいたこと及び砂利採取が掘削コストの削減につながるとの評価をいただきました。



松田会長 橋浦会長 高松北陸地方整備局長 本間会長
(長野県) (石川県) (新潟県)

